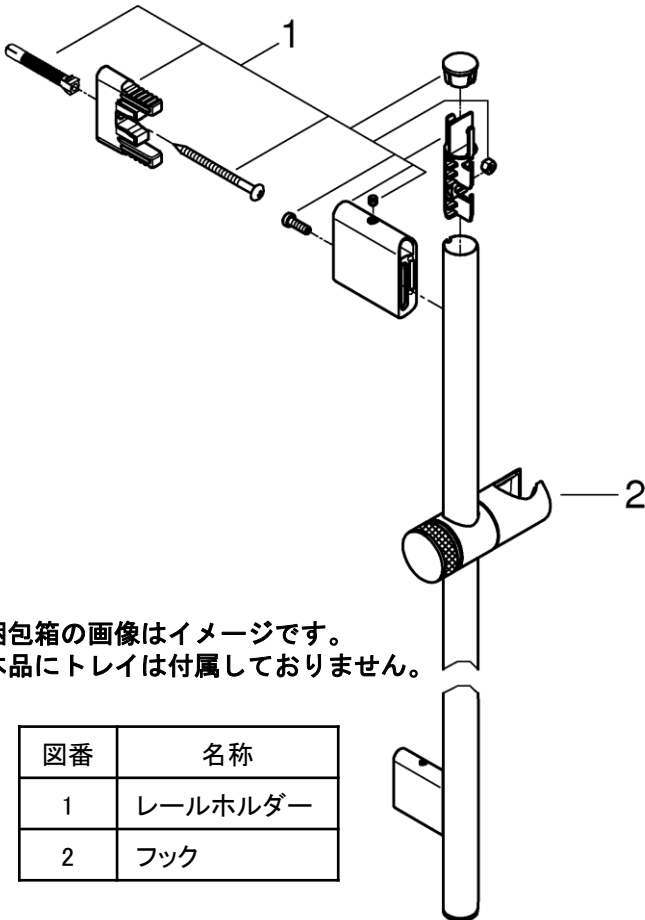


## ウォールバー据付および取扱説明書

機種名	品番
スマートアクティブウォールバー900mm	26603
スマートアクティブウォールバー600mm	26602

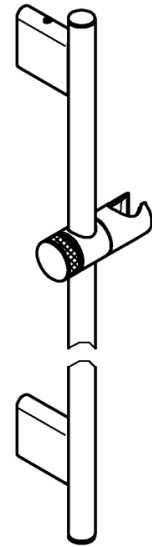
- このたびは、GROHE製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、この取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

### 分解図



梱包箱の画像はイメージです。  
本品にトレイは付属していません。

図番	名称
1	レールホルダー
2	フック





### もくじ



安全上のご注意	.....	2
据付前の注意	.....	2
据付手順	.....	3
ご使用方法	.....	5
日常のお手入れ	.....	6
定期的な点検	.....	7
修理を依頼される前に	.....	7
定期的な部品交換	.....	8
アフターサービスについて	.....	8

## 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

用語および記号の説明			
注意	この指示を無視して、誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。		
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)		「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

### 注意：正しくお使いいただくために

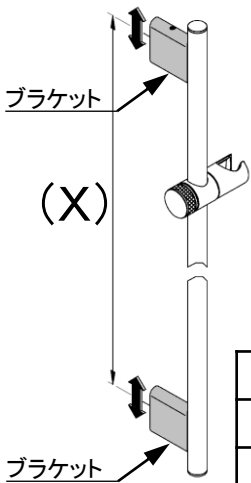
 禁止	商品の改造・仕様変更は絶対にしないでください。 ※事故の原因となります。
	ウォールバーに強い衝撃を与えないでください。 ※ウォールバーが破損するなどケガをするおそれがあります。
 指示	据付完了後は、スライドフック及び、壁面にガタツキのないことを確認してください。 ※シャワー使用時に落下等によりケガをすることがあります。

## 据付前の注意

- 組合せの水栓・ハンドシャワーの選定、水栓設置位置に関しては事前に十分ご検討ください。
- ユニットバスに使用する場合は、取付け位置に必ず補強の裏板を用意してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

# 据付手順

## 1. 取付け位置の決定



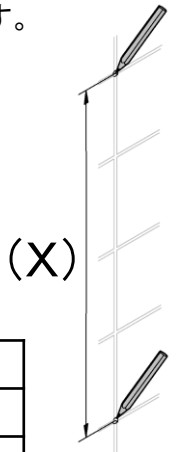
### ポイント

本製品はブラケットの位置を変えることにより、図中(X)の寸法を調整することが出来ます。

ご使用環境や操作性を事前に十分ご検討いただき、正しく設置してください。

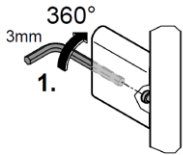
製品タイプ	取付け可能寸法(X)
900mmタイプ	870~930mm
600mmタイプ	570~630mm

2. ブラケット取付け位置をケガきます。  
(X)寸法が取付け可能寸法の範囲内であることを必ず確認してください。

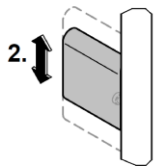


製品タイプ	取付け可能寸法(X)
900mmタイプ	870~930mm
600mmタイプ	570~630mm

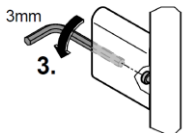
1. 取付け位置に合わせ、上下のブラケット位置を調整します。



①ブラケット内部のねじをゆるめる

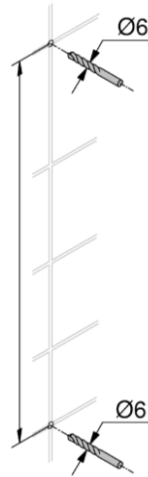


②ブラケットを上下にスライドさせ位置を調整する



③位置が決まったらブラケット内部のねじを固定する

3. 2でケガいた取付け位置に、ドリル等でφ6mmの穴をあけます。



### 注意

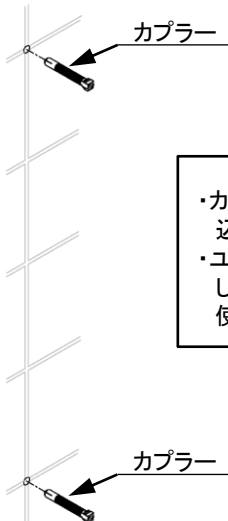
- ・ユニットバス等コンクリートを使用していない場所では穴あけの必要はありません。
- ・規定の寸法を厳守してください。バーを切ったり、伸ばすことはできません。

### ポイント

取付け位置決定後、ウォールバーのブラケット位置と取付け位置が合っているか確認してください。  
※取り付け位置とブラケットが合わない場合は、再度ブラケット位置を調整して下さい。

## 2. カプラーとホルダーの取付け

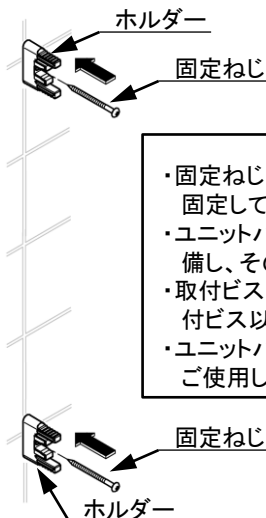
1. 取付け穴にカプラーをしっかりと差込みます。



### 注意

- ・カプラーは取付け穴に完全に差込んでください。
- ・ユニットバス等コンクリートを使用していない場所では、カプラーは使用しません。

2. ホルダーを壁面に押しあて、固定ねじでしっかり固定します。



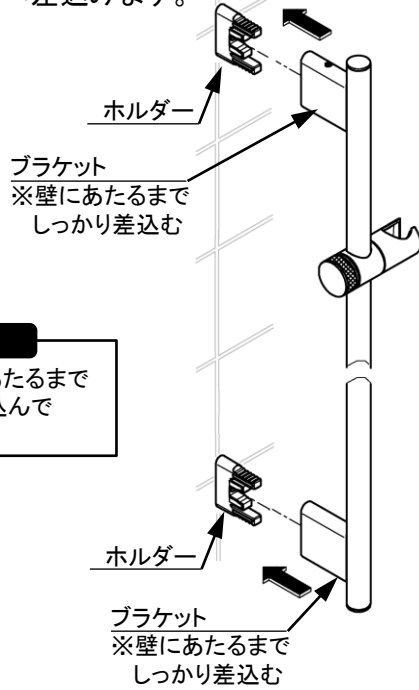
### 注意

- ・固定ねじはドライバーを使用し、確実に固定してください。
- ・ユニットバスの場合は補強の裏板を準備し、その位置に取付けてください。
- ・取付ビスは同等品であれば、付属の取付ビス以外でも使用可能です。
- ・ユニットバスの場合は、補強の裏板をご使用してください。

# 据付手順

## 3. ウォールバーの固定

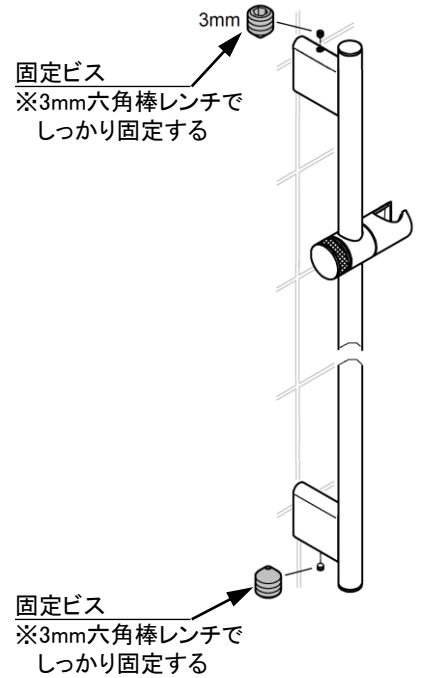
1. ウォールバー本体が壁と平行になるよう、ゆっくりホルダーへ差込みます。



### 注意

ブラケットが壁にあたるまでしっかり奥まで差込んでください。

2. 上側ブラケットの上面、下側ブラケットの下面の穴に固定ビスを工具(3mm六角棒レンチ)を使用し、しっかりとねじ込みます。



# ご使用方法

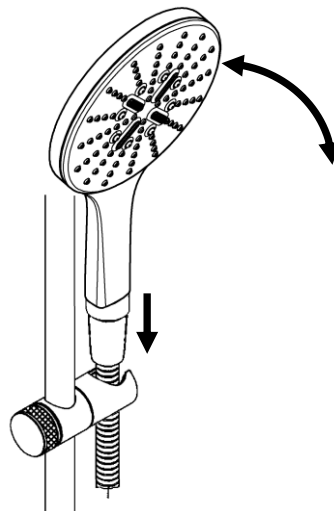
## スライドフックの角度調整

スライドフックはハンドシャワーを差し込み、高さ・角度を自由に変えることができます。

### 【スライドフックの角度調整】

スライドフックは、角度を変えることができます。

- ①ハンドシャワーをスライドフックに差し込む
- ②ハンドシャワーのグリップ部を持ち、傾けて回転させる

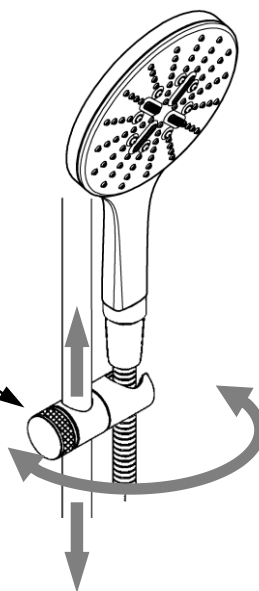


## スライドフックの上下移動・左右回転

スライドフックのハンドルをゆるめて、上下移動と左右の回転が可能です。

- ハンドルを左に回して → 上下・左右に動きます
- ハンドルを右に回して → スライドフックを固定します

ハンドル  
左に回してゆるみ  
右回して固定



# 日常のお手入れ

## 本体表面のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で、拭き取ってください。  
そのあと水でぬらした柔らかい布で水拭き後、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。
- メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。

### 注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

※ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合はすぐに水洗い等をし  
柔らかい布でしっかり拭き取ってください。



## 定期的な点検

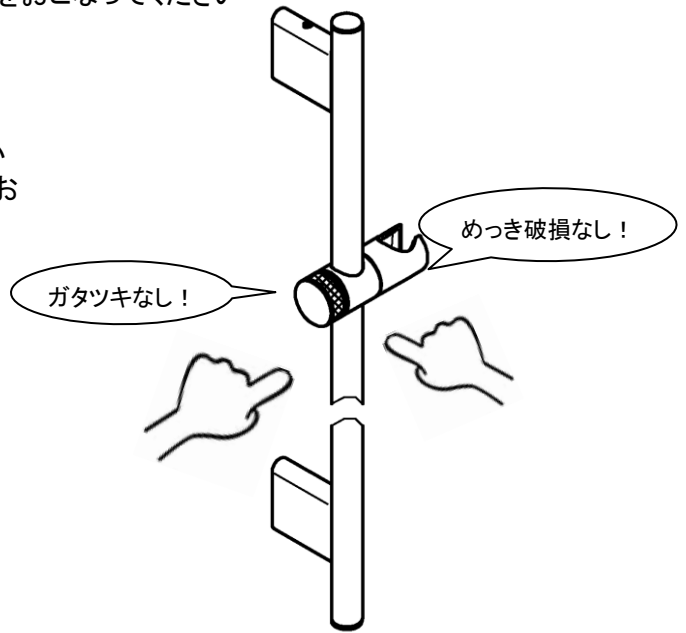
安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください

### 本体のガタツキ(1カ月に1回程度)

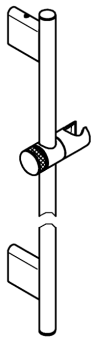
- ◎水栓のガタツキがないか確認してください。  
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### めっき部分の破損(1ヶ月に1回程度)

- ◎めっき部分の破損がないか確認してください。  
劣化・摩耗などによって生じるめっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。



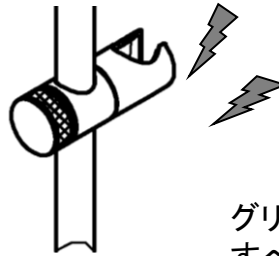
## 修理を依頼される前に



ウォールバー自体がぐらつく

取付ビスがゆるんでないか確認してください。

スライドフックの位置を変えると異音ができる



グリスもしくはリンス等ですべりを良くしてください。

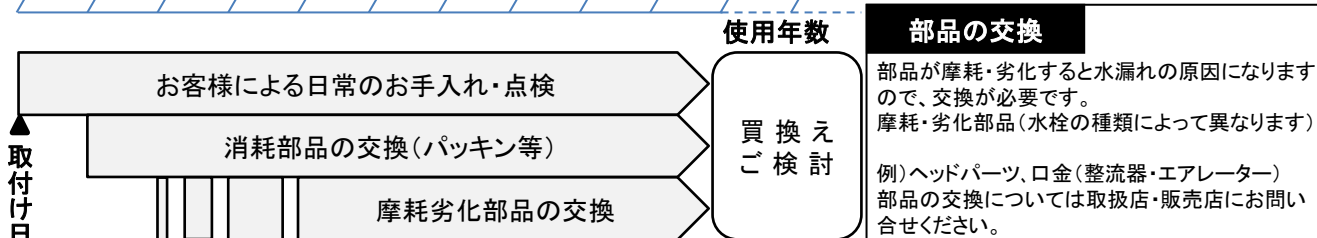
※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、または当社サービスセンターへご相談ください。

※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

## 定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

### ◆定期的な点検・部品交換のめやす

1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12



### 補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。  
なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店にお問い合わせください。

## アフターサービスについて

### ◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(保証書または取扱説明書)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問日

### ◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター  
0570-666-368

受付時間 平日9:30~17:30(受付・お問い合わせ)  
平日夜間・土・日・祝日24時間(漏水等緊急時のご相談のみ)

## 新しく購入して交換してください

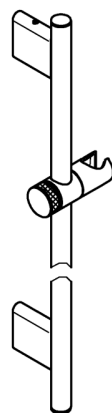
本品は、消耗部品、磨耗・劣化部品を交換しながらのご使用でも、使用10~12年を目安に交換をおすすめしています。  
交換については取扱店にお問い合わせください。

※右記のような場合、劣化による内部部材の磨耗が考えられます。  
※ご自身で新しく購入して交換するか。取扱店、またはグローエサービスセンター(0570-666-368)へ交換のご依頼をしてください。

ガツツキや  
めっき剥がれ

シャワーヘッド等が  
落下し、けがや家財  
などを破壊し財産損  
害発生のおそれ  
があります。

めっき表面の割れで、  
ケガをするおそれ  
があります。



本社 〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1  
TEL 03-6748-1180 FAX 03-6748-1181  
大阪営業所 〒541-0057 大阪市中央区北九宝寺町4-3-5 本町サミットビル3階  
TEL 06-4708-6340 FAX 06-4708-6485  
GROHE JAPAN ホームページ <https://www.grohe.co.jp/>

グローエジャパン株式会社